

仙台市議会だより

sendai city assembly

第181号
平成30年

第2回定例会号

http://www.gikai.city.sendai.jp/
2018年(平成30年)8月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



仙台クラシックフェスティバル

仙台クラシックフェスティバルは、クラシック音楽の普及と聴衆の拡大を目的に、音楽を介したさまざまな交流を促進するイベントで、「せんくら」という愛称で親しまれています。

13回目となる今年は、「せんくら、いろいろ、ド・レ・ミ・シ・ソ・ラ・ド」をキャッチコピーに掲げ、9月28日(金)～9月30日(日)の3日間、地下鉄沿線の4施設10会場で21種類の楽器による87公演が開催されます。

詳しくは、仙台クラシックフェスティバルのホームページをご覧ください。また、事務局【市民文化事業団内】(TEL 727-1872)にお問い合わせください。

平成30年度補正予算を含む15件の議案等を可決

市民のみなさまへ

第2回定例会

第2回定例会は、6月7日から22日までの、16日間の会期で開催されました。

初日の7日には、12件の議案が市長から提出され、そのうち人事案件2件について同意し、また、閉会中継続審査となっていた議案1件について、採決を行いました。

13日および14日の代表質疑、15日、18日および19日の一般質問では、新たな経済成長戦略等の策定や(仮称)自転車の安全利用に関する条例など、市政におけるさまざまな課題について、市当局の考えを聞いたいただきました。

20日には常任委員会が開催され、各委員会に付託された議案の審査を行いました。

最終日の22日は、各常任委員会の委員長が付託された議案の審査結果を報告した後に、採決を行いました。

また、旧優生保護法による不妊手術を受けた当事者への速やかな対応を求める意見書を、全会一致で可決しました。

調査特別委員会

市立中学校で相次いだ自死事件を受けて昨年6月に設置したいじめ問題等対策調査特別委員会では、その議論を中間報告としてまとめ、4月25日に市長に提出しました。

本市議会は、児童生徒が安心して健全な学校生活を過ごせるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

議長 齋藤 範夫

副議長 菊地 昭一

議長特別表彰を行いました

平昌2018オリンピック冬季競技大会のフィギュアスケート男子シングルにおいて金メダルを獲得し、オリンピック2連覇を達成した羽生結弦選手の偉業をたたえ、4月22日に表彰を行いました。羽生選手には、氷をイメージしたクリスタルトロフィーに、華麗に演技する勇姿をデザインした図柄と偉業をたたえる表彰文をレーザー加工で彫り込み、特別表彰状として手渡しました。

また、7月2日には羽生選手に国民栄誉賞が授与されました。市民の皆さまとともに、心からお祝いを申し上げます。



羽生結弦選手(右)と齋藤範夫議長(左)
※写真の転載はできません

議員所属別派会

平成30年6月22日現在 ※定数55人、うち欠員3人

自由民主党

鈴木 啓一、橋本 勇治、跡部 薫、加藤 和彦、やしる 美香、菊地 崇良、高橋 卓誠、渡辺 博、柿沼 敏博、赤間 次敏、佐藤 正彦、西澤 啓文、野田 譲、高橋 俊次、岡部 恒司、齋藤 恒夫、松本 由夫、菅原 正和、わたなべ 心、佐々木 拓

公明党仙台市議団

嶋中 貴志、鈴木 康、鎌田 行、小野寺 裕、小田島 久美子、菊地 昭一、佐藤 和子、佐々木 真由美、佐藤 幸雄、嵯峨 サダ子、花本 則彰、ふるくぼ 和子、高見 のり子、すげの 直子、庄司 あかり

市民党仙台市議団

辻 隆一、石川 建治、相沢 和紀、ひぐち のりこ、小山 勇朗、アメニティー仙台、田村 稔、佐藤 わか子、村上 かずひこ、渡辺 敬信、沼沢 しんや

みどりの会

平井 みどり、加藤 けんいち、小野寺 健、安孫子 雅浩、木村 勝彦、柳 邦彦

主な議案の紹介

平成30年度補正予算

○一般会計(補正項目)

先進的な農業経営の確立に資するため、農業者が、農業用機械・施設等を導入する際の経費に対し助成を行う事業費2813万6千円を追加するもの

条例など

○市税条例の一部を改正する条例

「地方税法」の改正を考慮し、一定の先端設備等に該当する機械および装置等に対する固定資産税の課税標準の特例に係る割合を定めるもの

○公害防止条例の一部を改正する条例

「大気汚染防止法」等の改正に伴い、所要の規定整備を行うもの

○あらたに生じた土地の確認に関する件
仙台塩釜港仙台区内の公有水面の埋め立てによりあらたに生じた土地について確認をするもの

自由民主党

跡部 薫 議員

災害救助法の改正による 救助実施市の指定について

問 災害救助法の改正が実現したが、救助実施市の指定を受けるためには県との事前協議や合意が必要になる。一刻も早く知事との協議を開始し、しっかりと調整を図るべきと考えるが市長に伺う。

答 本市が救助実施市になることで県全体の被災者に対する救助が円滑に進んでいくことを、私が

直接知事に説明し、理解が得られるよう全力を尽くしていきたい。

いじめ防止条例と 35人以下学級について

問 いじめ防止条例の現時点での検討状況と今後のスケジュールについて伺う。また、35人以下学級の効果について伺う。

答 条例で定めるべき項目や実効性を持たせる規定の在り方など具体的な検討を進めている。7月中に骨子案を示し、議会や市民と議論を深めていきたい。35人以下学級は、教員が子どもたち一人一人に丁寧に触れ合うことにより学習指導や生徒指導がより充実し、教員の多忙化の改善にも資すると思われる。引き続き、この事業が円滑に進むよう力を尽くしていきたい。



海岸公園パークゴルフ場

○「稼ぐ力」を強化する新たな経済プランの策定について

○東北連携と東北放射光施設支援

○市役所本庁舎建て替えを契機とした職員の働き方改革を

○青葉山公園(仮称)公園センター整備における歴史性への配慮

○海岸公園パークゴルフ場整備推進

○地域スポーツ活動継続への支援

○幼児教育無償化と発達障害や配慮を要する未就学児への対応を

本 目共産党

すげの 直子 議員

給付型奨学金の早期実現を

問 市長公約の大きな柱であった仙台版給付型奨学金制度に、市民から熱い期待が寄せられている。来年度には実施できるよう、目標を定めて検討を進めよ。

答 国における低所得者層を対象とした給付型奨学金の拡充の推移を見定めつつ、若者の地元定着を支援する奨学金支援制度の創設

に向けて検討していく。

復興公営住宅の 収入超過者への対応を

問 復興公営住宅入居時には収入要件が課されない特例が適用されたが、入居後は公営住宅法が適用される。所得が一定程度以上の方は収入超過者となり、入居3年を超えると割増家賃が課され、退去せざるを得ない世帯もある。被災者を復興公営住宅から追い立てるような復興で良いのか。

答 復興公営住宅の入居者世帯の家計状況や生活実態の把握は困難であり、家賃決定に際しては収入申告により確認している。収入超過者は一定程度以上の収入を得ている世帯が該当するものであり、他の公営住宅入居者との公平性の観点から、収入に応じた家賃負担



環境整備が求められる放課後児童クラブ (写真は錦ヶ丘児童館)

が必要と考える。

その他の主な質疑項目

○給付型奨学金制度とは別に、若者の地元定着や中小企業の人材確保策として、奨学金返還助成制度の創設を求める

○放課後児童クラブの環境改善を

○市役所本庁舎・議会棟の建て替えには十分な市民参画を

○学校へのエアコン設置に向けて夏の学校現場の状況確認を

公明党

鎌田 城行 議員

介護保険条例の改正に伴う介護現場の環境改善・効果について

問 今回の条例改正は、「看護小規模多機能型居宅介護」の指定事業者に、「病床を有する診療所を開設している者」を加えるものである。速やかにサービス提供施設を各区分に整備すべきであるが、期待される改善・効果を伺う。

答 条例改正で申請が可能となる診療所は十数カ所にとどまるが、

その他の主な質疑項目

○地域包括支援センターの機能強化

○かかりつけ医と大規模病院の連携

○復興住宅等のコミュニティ形成

○市外から避難している被災者支援

○本市独自の教育負担の軽減策

○仙台版給付型奨学金の検討状況

○本庁舎建て替えと総合窓口業務

○新本庁舎内への区役所業務の移動

○県庁舎や地下鉄駅と結ぶ地下通路

○介護保険事業の今後の方向性



自転車に車道の左側通行を周知するために設置されたピクトグラム

代表 表 質 疑

ていきたい。

昨年の市長選挙公約の進捗状況

問 市長は昨年の選挙公約に7つの重点政策を掲げた。35人以下学級は拡充したが、その他の公約はどの程度着手しているのか、進捗状況や見通しを伺う。

答 今年度予算では、35人以下学級等の教育環境整備や産後ケア事業をはじめとする切れ目ない子育て支援等の施策に力を注いだ。いじめ防止条例は、7月中に骨子案を示すために検討を進めている。地域経済活性化に向けては、地元企業の経営強化の取り組み等を新たに実施するとともに、経済産業、交流人口拡大における新戦略の策定に着手した。今後とも、議会での議論も踏まえ、市民のために重

点政策の具体化を図っていく。

その他の主な質疑項目

○国の災害救助法改正案成立に伴い知事と早急な協議の実施を

○郡市長らしい経済成長戦略策定を

○東部沿岸部集団移転跡地の事業者未決定区画の今後の取り組み

○本市が運営管理する3墓園の所有者不明区画の実態と今後の対応策

○視覚障害者誘導用ブロックの適切な維持管理



東部沿岸部の集団移転跡地

社 民 党

石川 建治 議員

青年や女性など 農業の担い手育成の推進を

問 農業従事者の減少が進む中、これまで担い手育成事業を検証し、青年や女性の後継者、新規就農者への支援の拡充を。

答 新規就農を促進するため、これまで機械導入の支援や女性農業者の育成等を行ってきた。これにより、過去5力年で83人の方が新たに就農する等の成果が出てき

に必要と考える。

放課後児童健全育成事業の拡充策

問 放課後児童健全育成事業の拡充を図るため、放課後児童支援員の増員や配置基準の見直し、「安全管理マニュアル」の作成に取り組みよう求める。

答 放課後児童健全育成事業の拡充を図るため、放課後児童支援員の増員や配置基準の見直し、「安全管理マニュアル」の作成に取り組みよう求める。



ひまわりの種を植える子どもたち (東四郎丸児童館での様子)

その他の主な質疑項目

○災害時の被災者支援の権限移譲に向けて県との協議促進を

○「仙台経済成長デザイン」の総括と新経済成長戦略の策定

○農業委員に青年や女性を積極的に登用するための取り組み

○中小企業の労働生産性向上支援

市民ファースト 市 民 会

小野寺 健 議員

宮城県に宿泊税の説明を求めよ

問 県が今年10月にも、宿泊税の導入を念頭に検討を始めるとの報道があった。なぜ宿泊税が必要なのか、県にしっかりと説明を求めるべきだが、所見を伺う。

答 県の説明によれば、観光施策実施のための財源の在り方を検討する中で、宿泊税も一つの議論の対象としていくとのことだった。

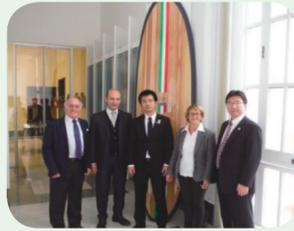
引き続き県に対して説明を求めていく一方、地域の事業者の意見を丁寧に向つとともに、宿泊税を導入した他自治体の事例も検証しながら、適切に対処していく。

東京五輪のイタリアカンパ 誘致の取り組み

問 他都市の東京五輪キャンプ誘致は着々と準備が進んでいる。G20に次いで誘致を逃すことがないよう、市長を先頭に本気になって取り組むべきだが、決意を伺う。

答 副市長等のイタリア五輪委員会訪問や交流事業などの機会を捉え、協議・交渉をしている。今後も状況に応じたトップセールスを行うほか、イタリア以外の国の誘致についても情報収集を進めていく。

○仙台市には観光、音楽、歴史姉妹都市がある。楽天キャンプ地の久米島町との交流実績も踏まえ、スポーツ姉妹都市の創設を。○羽生結弦選手を名誉市民に。○アイスアリーナ創設の努力を。○災害救助法の改正と県との協働。○雇用対策としての給付型奨学金。○新たな経済成長戦略と交流人口ビジネス活性化戦略。○次世代型放射光施設への期待。○奥山前市長の市民活動応援賞。



東京五輪まであと2年。五輪キャンプ誘致のためイタリア五輪委員会と交渉中。

常任委員会 審議の概要

平成30年6月20日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣に記載しています。また、各議案名は4面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

○は付託議案に対する質疑項目「」はその他の報告事項等

総務財政委員会

(第79・80号)

付託された3議案のうち、第79号議案および第80号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第88号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

○生産性向上特別措置法に基づく本市の導入促進基本計画の考え

市民教育委員会

(第83・85・86号)

付託された3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○市民センターの機能について

○証明書等の自動交付機の設置状況について

・仙台市民会館設備改修工事による休館について

健康福祉委員会

(第81・84・88号)

付託された3議案のうち、第81号議案および第84号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第88号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

○認定された意見書案は、全会一致で議長に提出すべきものと決定しました。

経済環境委員会

(第79・82号)

付託された2議案は、いずれも全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○農業担い手総合支援事業の交付対象決定までのスケジュール

○国における補助金配分の決定方法

○新規就農者の内訳と補助金の交付希望者の状況

予算等審査特別委員会

市民の皆さまに交通局の経営状況や経営健全化の取り組みを丁寧に説明し、理解していただくことが重要であり、議会として注視していく必要があるという理由で、平成30年第1回定例会において閉会中継続審査とされた乗合自動車運賃条例の一部を改正する条例(第60号議案)を審査するため、5月31日に予算等審査特別委員会が開催されました。

この議案に対して、自由民主党の橋本啓一委員、公明党仙台市議団の佐藤和子委員、日本共産党仙台市議団の花木則彰委員、アムニティー仙台の村上かずひこ委員、市民ファースト仙台の木村勝好委員、みどりの会の手井みどり委員がそれぞれ質疑を行った後、賛成多数で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

○特別表彰(議員在職25年以上)

柳 橋 邦彦

○一般表彰(議員在職15年以上)

斎藤 範 夫
橋 本 啓 一

意見書

第2号 旧優生保護法による不妊手術を受けた当事者への対応を求める件

可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●SOCIETY5.0(注1)

(4面2段)

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、先端技術により経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会のこと。日本が目指すべき未来社会の姿として、国の科学技術基本計画で提唱された。

●CLT(注2) (4面2段)

クロス(交差)・ラミネイテッド(張り合わせる)・ティンバー(木材)の略で、木の繊維方向が直角に交わるように板材を重ねて接着した厚型のパネルのこと。

●ヤングケアラ(注3) (4面5段)

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護などを行っている18歳未満の子どものこと。

議案に対する各会派の代表質疑の中から 主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

青年や女性など 農業の担い手育成の推進を

問 農業従事者の減少が進む中、これまで担い手育成事業を検証し、青年や女性の後継者、新規就農者への支援の拡充を。

答 新規就農を促進するため、これまで機械導入の支援や女性農業者の育成等を行ってきた。これにより、過去5力年で83人の方が新たに就農する等の成果が出てき

放課後児童健全育成事業の拡充策

問 放課後児童健全育成事業の拡充を図るため、放課後児童支援員の増員や配置基準の見直し、「安全管理マニュアル」の作成に取り組みよう求める。

答 放課後児童健全育成事業の拡充を図るため、放課後児童支援員の増員や配置基準の見直し、「安全管理マニュアル」の作成に取り組みよう求める。

その他の主な質疑項目

○災害時の被災者支援の権限移譲に向けて県との協議促進を

○「仙台経済成長デザイン」の総括と新経済成長戦略の策定

○農業委員に青年や女性を積極的に登用するための取り組み

○中小企業の労働生産性向上支援

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。23人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

高橋 卓誠 議員

問 東北大学農学部跡地の再開発事業に関する市民の声に対し、本市は責務を果たすべきか。

答 当該開発事業が地域にとってより良いものとなるよう今後も事業者等に指導していく。

問 学校施設整備の進め方

答 片平丁小学校老朽化等の対応

問 仙台駅前再開発事業

答 北仙台駅周辺地域要望の対応

問 青葉山公園センターと近隣一体を観光地として整備し、魅力あるまちづくりを進める必要があるのか

答 青葉山公園を含むエリアの一体的な魅力向上に努める。

問 運動部活動のガイドライン作成時期と各競技団体への説明

答 仙台市学生消防団員活動認証制度について

わたなべ 拓 議員

問 健康福祉の複合課題の総合相談窓口を各区に設置せよ。

答 子供・高齢・障害の各窓口で連携しているが、分野横断的な人材育成にも努める。

問 学校での認知症啓発機会拡大

答 市長は拉致被害者家族に会い、大槻文彦、梅澤道治らと戦争後再起した先人の顕彰を

問 在宅介護の負担軽減について

答 首原 正和 議員

問 スクールゾーンの車両通行禁止の時間帯を小学生の下校時間に合わせるべきか。

答 児童の安全を守るため、今後、各校の状況を確認し、警察等の関係機関とも協議し

高橋 次男 議員

問 みやぎ環境税と国の森林環境税が重複すれば市民に重税感を与える。対応を伺う。

答 国と県の動向を注視し、機会を捉えて必要な意見を述べていく。

問 森林環境税と執行に向けた体制と林地台帳整備状況

答 橋の耐震補強工事見学を通じた防災意識の啓発・向上

問 東北放射光施設整備に

答 野田 謙 議員

問 より東北全体に大きな経済効果や雇用促進、交流人口拡大が期待される。所見を伺う。

答 経済・産業面での効果や人材の地元定着等、まちづくりへの大きな寄与を期待する。

問 障がいのある方の親亡き後の住まいの確保と生活支援

答 小学校英語教育の課題

問 西澤 啓文 議員

問 貴重な労働力である高齢者の就労促進のため、そのニーズや事情を踏まえた適切な支援策が必要。所見を伺う。

答 経済団体と意見交換するなど多角的な視点から効果的な事業となるよう取り組む。

問 保育士の人材確保と処遇改善

答 病児・病後児保育事業

問 空き家の発生抑制の取り組み

答 (仮称) 自転車安全利用に関する条例が有効に機能するためには、市民の理解と協力が不可欠。特に若い世代への啓発が必要であり、学校教育でも取り組むべき。

問 学ぶ志を持つ多くの市民に広がるよう、図書館の活性化を

答 市政と政府の関係の重要性

問 副市長二人体制の活用

問 検討を進めたい。

答 聴覚障がいを持つ児童・生徒や教員とのコミュニケーションを支援するアプリ「UDトーク」の活用推進

問 法改正を受けた、障がい者雇用率増加策等を伺う。

答 企業訪問等による業務掘り起こし、適切なマッチングのほか、就労後の定着支援強化の取り組みを開始した。

問 児童発達支援センターの相談機能のさらなる拡充

答 障がい者就労への理解促進

問 障がい児者施設の人材確保

答 障がい児者の成長と権利を保障する児童福祉法の理念で、児童虐待防止の施策展開を。

問 法の趣旨を受け止め、関係機関と密に連携し、児童虐待の防止に取り組んでいく。

答 児童相談所の体制強化を

問 いじめの防止は、子どもの権利を守る取り組みの一つと位置付けて推進を

答 市が支払う電気料程度は再生可能エネルギーを利用するとう目標を持ち、積極的に検討し進める部署が必要。

問 庁内で連携を図りながら、市民、事業者とともに再生可能エネルギーの利用推進に努めていく。

答 水力、風力、地中熱の活用

問 石炭火力発電所の監視強化

答 政治分野における男女共同参画推進法を活かし、多様な民意を反映すべき。

問 法の趣旨を踏まえ、女性やさまざまな立場にある方々の参画促進に努めていく。

答 女性副市長の登用

問 自治体非正規職員の待遇改善

答 会計年度任用職員への移行

問 ヤングケアラーの実態調査

答 水道等のみやぎ型管理運営方式の効果等を伺う。

問 経費削減効果の検証

問 本市舞台の漫画「ブルージャイアント」と連携した観光策

答 浸水想定区域となった市立病院における大雨災害時の対応

問 発達障がい児を持つ保護者への支援として、同じ経験を持つ先輩保護者の活用を。

答 先輩保護者の活動範囲を広げる等、幅広く検討したい。

問 焼却により処理されている下水汚泥の有効活用を

答 地域の実情に合った災害時要援護者支援体制の構築

問 実効性のある自殺対策計画

答 市民ファースト仙台

問 加藤 けんいち 議員

問 今年度より実施予定の部活動指導員の配置校の選定や人選等、今後の取り組みを伺う。

答 運動部活動推進モデル校5校に10月頃、各校3人程度配置する。任用条件、職務内容等を検討し、人選を進めている。

問 東北放射光施設建設後を見据えた制度整備を求める

答 教職員の負担軽減の取り組み

問 羽生結弦選手の生き方や談話を小中学校の道徳授業の教材に活用してはどうか

答 児童生徒の豊かな人間性の育成につながることから、活用を検討していきたい。

問 仙台国際ハーフマラソンの進化と第30回大会に向けた準備

答 企業の人手不足・事業承継

問 特別支援学校高等部の整備

答 みどりの会

問 7回目を迎える仙台国際音楽コンクールの評価と今後の方針、市民文化事業団との連携体制について伺う。

答 世界のトップクラスに位置するとの高い評価を得ている。事務局を担う事業団には助言等を行っており、事業団の専門性を生かして、今後一層特色ある運営に努める。

問 採決結果

会派別議案等賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数							採決結果
	みどりの会 (1)	市民ファースト仙台 (5)	アメニティー仙台 (5)	市民党仙台市議団 (5)	日本共産党仙台市議団 (6)	公明党仙台市議団 (9)	自由民主党 (21)	
補予算案 一般会計(第1号)[79]	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 乗合自動車運賃条例[60]	○	○	○	○	○	○	○	可決
市税条例[80]、介護保険条例[81]、公害防止条例[82]、市民センター条例[83]、病院事業使用料及び手数料条例[84]	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 あらたに生じた土地の確認に関する件[85]、住居表示を実施する市街地の区域及び住居表示の方法の決定に関する件[86]、市道路線の認定に関する件[87]	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分事項に関する件[88]	○	○	○	○	○	○	○	承認
農業委員会の委員の任命に関する件[89]、資産等公開審査会の委員の委嘱に関する件[90]	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提案等 花木則彰議員に対する懲罰の件	○	○	×	×	○	○	○	可決
意見書第2号 旧優生保護法による不妊手術を受けた当事者への対応を求める件	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対
※乗合自動車運賃条例の一部を改正する条例(第60号議案)は、平成30年第1回定例会において閉会中継続審査となり、平成30年5月31日開催の予算等審査特別委員会で、賛成多数で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
※花木則彰議員に対する懲罰の件は、平成30年第1回定例会において閉会中継続審査となっていたものです。